

第 1 回 えびな南高齢者施設 運営協議会 議事録

日時：2024 年 6 月 21 日（金）14：00～16：00

場所：地域交流室（1 階）

参加者：（敬称略）

地域住民代表（自治会長）	3 名
ボランティア代表	1 名
家族代表	2 名
施設代表	1 名（福祉総務課生活相談係 係長）
所長（司会）・副所長（記録）	2 名

1. 挨拶、会議員自己紹介

2. 運営協議会の目的について

- (1) 要綱の確認・・・・・・・・・・・・・・・・中心会運営協議会 実施要綱参照
 「中心会運営協議会 実施要綱」に基づいて、以下の内容を確認する。
 ・運営協議会の設置目的、会議員の構成、議題、記録の作成と報告

(2) 中心会についての概略説明

- ①社会福祉法人の特徴について・・・・・・・・全国経営協紹介動画・資料参照
 全国経営協の動画を見ていただき、社会福祉法人の特徴や活動内容を説明する。
 ②法人のあゆみ・・・・・・・・えびな南パンフレット参照
 えびな南高齢者施設のパンフレットにある年表に沿って、説明する。
 ③中心会のスローガン“あなたがいてくれて良かった”と思える街づくり
 スローガンの言葉に込めた意味を説明する。

- (3) えびな南高齢者施設の概略説明・・・・・・・・えびな南パンフレット参照
 えびな南高齢者施設のパンフレットの内容に沿って、各事業の特徴を説明する。

3. 活動状況の報告

(1) 2024 年度 えびな南高齢者施設 事業計画について

事業計画書を配布し、えびな南高齢者施設の組織体制や事業所の取組内容を記載していることを説明する。

(2) 2023 年度の実績について

①運営状況・・・・・・・・資料①

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの運営状況について資料に基づき説明する。ショートステイについて、入居フロア（特養）で感染症が発生した場合、ショートステイの受入を一時中止せざるを得ない事情により、充足率が極端に低くなった月が生じていることを説明する。

ご意見・ご質問

Q. ショートステイの充足率のグラフに、100%以上の数字があるが、どのような意味でしょうか。

A. 特別養護老人ホームに入居している利用者のベッドは、1日単位で利用料を計算しています。入居利用者が入院した場合、その間はベッドを他の方に利用してもよい、という契約をしています。空いているベッドをショートステイで利用したい、という方に使ってもらおうと、ショートステイの定員数以上にベッドを利用するため、100%以上の数字になります。

②ボランティアについて・・・・・・・・・・資料②

年度の途中より、感染症対策を取りながら、ボランティア活動を徐々に再開を始めたことを説明する。

③事故・苦情について・・・・・・・・・・資料③

資料に基づき、1年間の発生件数と傾向について説明する。

④防災関係 ～ 総合防災訓練の実施・・・・・・・・資料④

資料に基づき、1年間の訓練の内容について説明する。火災や地震が発生した際、職員が事業所へ駆け付けることができるように、ALSOKの一斉メールシステムを活用した訓練を実施していることを説明する。

ご意見・ご質問

Q. メールの訓練は、いつやるかわからないようにして行っているのでしょうか。

A. 今月は火災発生の訓練、来月は地震発生の訓練…というように、月毎の予定はあらかじめ決めていますが、何日に実施するかはわからないようにして行っています。

(3) 感染症に対する取組みについて・・・・・・・・・・資料⑤

資料にもとづき、1年間の感染症発生状況について説明する。

(4) 社会福祉法人としての公益的取組み

①ライフサポート事業 ②ユニバーサル就労支援事業

生活が困窮している方へ対象者を限定せず、必要な支援に繋げていく活動や働きたいけれど就労への不安、社会復帰への不安がある人へ支援活動を行っていることを説明する。制度の狭間にいる人への支援は社会福祉法人の役割であり、えびな南高齢者施設のパンフレットにも説明が記載されていることや広報誌の最後のページに事例を掲載していることを紹介する。

(5) 職員代表から（福祉総務課生活相談係 係長）

ライフサポート事業の取組について、資料をもとに説明をする。

- ・ 事業の目的、県内の参加法人数、資金の仕組み、相談の流れ等
- ・ 相談内容の事例紹介

2. 地域住民代表者より

- ・まちづくり活動として茶話会を行っていますが、そこに地域包括や社協の方が来ていた意味がようやくわかりました。
- ・施設で取り組んでいることは、主に高齢者のケアだと思っていました。今日の話をして、若い人もサポートしている(ライフサポート事業やユニバーサル就労支援事業)というイメージがなかったので、勉強になりました。
- ・幅広い話を聴くことができ良かった。いろいろな事業があることがわかり、とても勉強になりました。
- ・えびな南高齢者施設と海老名南地域包括支援センターの関係性を教えてください。
 - A. 海老名市から業務の委託を受けて、えびな南高齢者施設の職員がその業務を請け負っています。市役所の職員ではなく、中心会の職員です。

3. ボランティア代表より

- ・ボランティア活動が再開し始め、ご利用者と一緒にできることがとても嬉しいです。

4. ご家族代表より

- ・運営協議会に参加するたびに、いろいろと知ることがたくさんあります。いつも母のことで助かっています。
- ・この仕事は、思いやり・気配り・優しさがとても大事であると思います。年表を見て、戦争で苦しい頃から、中心会が人のためにと活動されていたことに感動しています。スローガンもとても素晴らしいものだと思います。対象者を限定しない、その精神が本当に素晴らしいです。

5. 次回の日程 第2回えびな南高齢者施設運営協議会 9月20日(金) 14時~16時

*12月および3月の運営協議会の開催時間について

当初 12月20日(金)、3月21日(金) いずれも14時~16時

➡ 自治会の会合と時間が重複してしまったため、時間変更。

変更後 12月20日(金)、3月21日(金) いずれも 10時~12時